

シリーズ
地域デビューのすすめ

まちづくりやボランティアなどに参加している
地域活動の担い手をシリーズで紹介します

身近な地域で何が行われているのか、よくわからない。教えてあげたくても、伝える場がない。そんな悩みを解消するため、インターネットや機関紙を利用した情報発信について紹介します。



パソコン学習会でアドバイスをする小田島さん(右端)

普及の進むインターネットをまちづくりに利用できないだろうか。そう考えた幌北地区の大学生と町内会役員などで作る「学生と地域で考えるまちづくり会(平野あゆみ代表)」では、昨年3月、ホームページとブログを開設しました。毎月の行事のお知らせやその時の写真を載せています。開設に当たっては同会での話し合いを重ね、技術的な面では北海道大学で情報技術などを学ぶ本多康洋さんに協力を依頼。それから本多さんも同会メンバーとして、地域の行事などにも参加しています。「学校で学んだことを地域のために

インターネットをまちづくりに

は、なく、管理や更新をし、定期的に情報を発信していくことが大切です。その作業を自分たちの手で行えるようになりたいと、地域住民が集まってパソコン学習会を開いています。参加者は20代から80代までと幅広く、互いに協力しながら少しずつ操作を覚え、自分ができることを探しています。町内会役員の小田島清勝さんは「全く使ったことのない人も、みんなが学ぼうという気持ちで、難しいところなどと思わず、ま

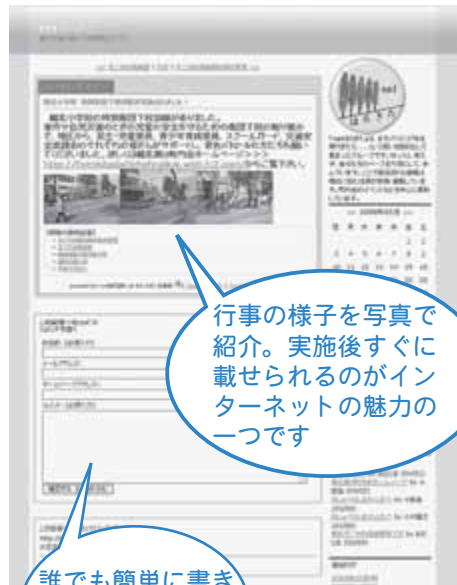
ずは参加してほしいですね」と話します。実際の交流へつなげたい

ブログは開設するだけではなく、管理や更新をし、定期的に情報を発信していくことが大切です。その作業を自分たちの手で行えるようになりたいと、地域住民が集まってパソコン学習会を開いています。参加者は20代から80代までと幅広く、互いに協力しながら少しずつ操作を覚え、自分ができることを探しています。町内会役員の小田島清勝さんは「全く使ったことのない人も、みんなが学ぼうという気持ちで、難しいところなどと思わず、ま

ブログを見て行事に参加してくれる人もいますが、なかなか書き込みが増えないのが悩みの種。「参加した感想など、気軽に書いてもらえるように工夫していきたい」と話す小田島さん。名刺にアドレスを載せるなど、宣伝にも力を入れています。もっと多くの人に参加してもらって、地域のことを何でも書き込める場所にするのが目標です。インターネット上のかかわりが広がっていくことが、地域での実際の交流につながっていくと考えています。

生かすことができうれしい」と本多さんは語ります。

ブログを見て行事に参加してくれる人もいますが、なかなか書き込みが増えないのが悩みの種。「参加した感想など、気軽に書いてもらえるように工夫していきたい」と話す小田島さん。名刺にアドレスを載せるなど、宣伝にも力を入れています。もっと多くの人に参加してもらって、地域のことを何でも書き込める場所にするのが目標です。インターネット上のかかわりが広がっていくことが、地域での実際の交流につながっていくと考えています。



行事の様子を写真で紹介。実施後すぐに載せられるのがインターネットの魅力の一つです

誰でも簡単に書き込みができるようになっています

net ほろきた
ホームページ <http://horokita.net/>
ブログ <http://nethorokita.seesaa.net/>

連合町内会機関紙

太平 百合が原
新琴似 拓北・あいの里
新琴似 麻生
広報篠路 屯田

新琴似西地区 ホームページ「安春通信」
<http://www18.ocn.ne.jp/~shinwest/>

ほらほら幌北 地域の歴史や活動を冊子で紹介

「屯田 120年記念史」地域の歩みを写真と映像で紹介

発信方法いろいろ

紹介した2つのほかにも、各地区でいろいろな情報発信をしています。詳しくはお住まいの地域の町内会、まちづくりセンター(きた4ページ)へ